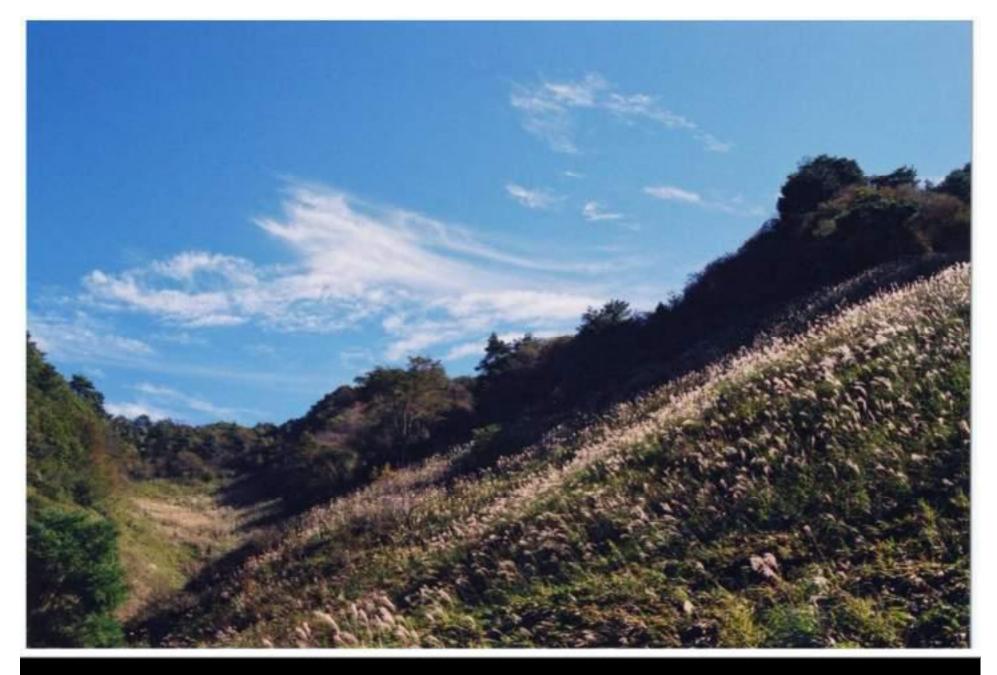
緑をとりもどせ!

ー生物多様性の保全と崩壊地の緑化を目指して一

鳥取県立智頭農林高等学校 森のしずくクラブ





演習林内にはススキの草原が点在

2003年撮影

7年前にススキが枯死、その後復元せず!



草原に生息する野鳥が減少!



裸地の崩壊が進み、



土砂流出被害が発生!

シカの食害により失われた緑



2020年3月 山腹斜面にて撮影

春先、 新芽を食べつくす ニホンシカ

「緑をとりもどせ!」プロジェクト

多くの方からの励ましと助言

活動 1

「ススキの植栽による山腹斜面の緑化」

活動 2

「シカの忌避樹木の植栽による裸地の森林化」

活動 3

「害獣駆除されたシカの皮の有効利用」

活動 1 「ススキの植栽による山腹斜面の緑化」



2月25日

鳥取県林業試験場訪問

場 長 村上拓朗 様研究員 矢部 浩 様

よりご指導をいただく。

『斜面緑化の第一歩は、 土砂の移動をとめること。』





『荒廃地の森林化には、 には、 長期的な計画が 必要。』

『シカの 防護柵設置は、 雪圧を 考慮すること。』



春休みにミニュンボで、 幅1m、 長さ50mの 平たん地を 造成。



4月20日

近くの 休耕田から ススキの大株を 掘り取る。





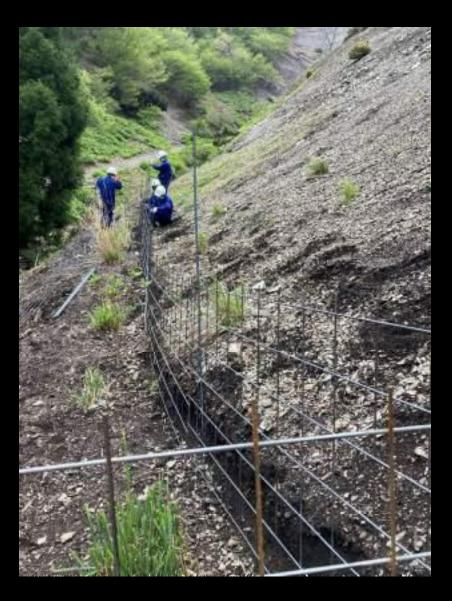
平たん地に植栽する。



4月30日

ワイヤーメッシュ の防護柵を 設置する。





高さ1mの防護柵を設置す

食害を受けず、順調に成長する。





6月11日 撮影



ピンクのビニルテープを張る。



10月 開花

平たん地に植栽 すること、 防護柵で囲う ことで、 確実にススキは 活着、成長した。

10月19日 撮影







このススキが繁茂し、 草原化の拠点となってほしい。

活動 2

「シカの忌避樹木の植栽による裸地の森林化」



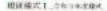
2月17日

「森の山人塾」塾長 山本福壽様より ご指導をいただく。

『忌避樹木を植栽して、森林化を 試みてはどうか。』



「次世代の森づくりを担う人材育成事業





級の募金次世代育成公募事業応募申請書 (次世代の森づくりを担う人材育成事業)

会和 3年 3月 15日

公益社団法人 国土総正推進機構

河羊掛 濱田 林一 斑

辛請人の住所等

988-1402

為數準の領域管理的循環で111-1

の名件

森のしずくクラブ

代表著代名 小排 徵

TEL 1888 (1000001 美費 190-5099 1124

下記の信仰を行いたいので、「緑の基金」の支援を製造します。

1. 事業名(後度に記載。10年日内)

縁をそれもどせ!土砂帆機助此をめざして

2 事業目的(「へのため」「~を目むし」「~を解決するため」を、約17以内。 この事業を行うことで解決したい機様等を具体的かつ観響に記載。1

シカの食害で構想となった山間斜省を発え時化するために、シカの不確却作補着を展研して 土砂原標を止め、スステの製売を包括す。

3. 対象者・ターゲット(「一を対象に」「一と一様」」等、30年以内、)

森林県の後継者をお得す高校生と地域住民

- 4、事業内容(「一千米医する」等、具体的かつ情報に収載、生液、会体検型のわかる単数を設け、 新成英雄の有着に関わらず、本事党が何年計能の利用目が、わかる範囲で記載。)
 - (2)シカの食害を受けて養殖となった山戦四百の意え跡七を目指して、シカの不確計性値
- ・物(樹木10種)を植物して土容めたし、表土の脂素と土砂泥仕を防ぐ。
 (3) 御地から実出した土砂が谷川に沈れ込むことを防ぐために、何時にヤナギを植物して何味体の形成を読みる。又、シカの責治を防ぐためにクリーシェルターを設置する。
- (2) のヤナゼの植物に向けて、市民に公募して規地で森井教室を開催し、葡井体験
- (4) のなどの関係とついて、原事権にまに前載してください。



8月17日

山本様と現地(林生寮)で計画立案



10月26日・11月2日 山腹斜面に植栽





徒が泊日、目校の上収井原 生徒たちは留土緑化推進機 問個林や樹木を植栽した。 盟町管理の管理農林高の生 し購入した笛木を、シカの 等から必付でれた約30万円 食害から豊かな山に 級の赛会事業により、智一する目的で、関事業から交

生などの若者の活動を支援 費用に考えていった。 春林保全に取り組む者校

発で模地状態になった山 ンゲッツラなどの種類で、

計なりの本を購入した。 |新頭の中人数||の中本部 林葉の担い手を背成する

> Comments. (武中将一般)

木は、棚やしかなどがあり

で検地状態に、植栽する苗

シカが食べないアセピやレ

御廷長が講話を務め、植え

力を指導、業林が学科の3

智頭農林高生が植栽作業

とにつながって強しいと でに残りの苗木を構えると 話した。今後、雪が降るま から経費かな場所になるこ 早生日人がくわて公共 経度 つ一つの作業によって検地 に魅んで展定した。 東の水を観え、 調で慣れ 育木書記さん(15)は「

林は以前はススキに関われ 付金を行た。同校の複響

ていたが、シカによる書書

10月29日

本海新聞より

の穴を押り、斜面に沿って ないと、商木をひもで支柱

権地にはった終めて機能作業をするを使たる

智頭農林高生 食害対策の新事業

ら無べられて失戦、をわならな もの体を様式が知、動きる概が 国国民代報にある。最初は国 の対に関われる報節になった。 シガに関われる報節になった。 シガになった。 ・ シガになった。 ・ シガになった。 試大する。土地収留も報告かれ され、推想化が金額機匹外にも くなると、中心の間が発生が開めているのは、日本のは、中心の間による数を行用されている。 いがくしたためた。

忌避植物を植栽 ノウハウ蓄積へ

作成を受得用し、アセビ、ネジ 対金を使用し、アセビ、ネジ 対金を使用し、アセビ、ネジ 4、シキューショゴ、レンゲツ付金を適用し、ア何ピ、ネジ ツヤーラマタ、シロをも、ウ

(1986)

りハダカエデ・ゴマギ、エゴス この日暮の前木を助本すつ意义 した、いずれた真内で前生する

容林で有たな取り組みを組めた。 歳などのせいでう め、見り報道器林美校(新選問)の生徒だちが、例

山の

緑

シカから守れ

おいることである機能のでは 他に対象性のスポーンと様々 でいることである機能のでは、 であることである。

11000

力が食べない植物を、弊性に核え物でるというアイ

鳥取こども みらいろ応視団

数圧がけてノウハウを養殖させていく

竹筒を置いを作ったが、

だ発光

で都大が勝の後のまできてけて の上の手成り、単く様を数の像 したに、くるをがけ、北海軍大 機能が高級性・機大生 機をいる機能が出来なる。一人 間の対け、北上の機に対する。 様とが関係をはいるいといけない。 たことを持ったとの機になった。 たことを持ったとの機になった。 たことを持ったとの機になった。 たことを持ったとの機になった。 たことを持ったとの機になった。 をから、 をから。 をから、 をから、 をから、 をから、 をから、 をから、 をから、 をから、 をから。 をから、 をから。 をから、 をから。 をから、 を れば」と語の意味されば、日 日々日の・田日におれば、新り 日の本の解析に対した。数か 中本も解析的を表してもで語 として様までいく 次を繰りて機関に加水を輸入。 整で倒れないようを終む倒火 た。「今の川の状態団が削減な ので、しつかか御を繰りてくれ れば」と響の機能なる次状で、目 小林橋のとは「ったくろいたっ 2月20日の最初の種類・出版 11月17日

朝 日新聞より

10種類の忌避樹木を20本ずつ合計200本を植栽





今後 生育観察と3年間の植栽



市民の方が植栽に参加できる森林教室の開催



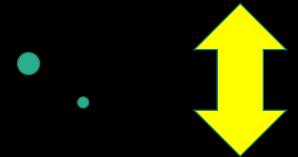
活動の成果を町内の被害地でも活用した

活動 3

「害獣駆除されたシカの皮の有効利用」

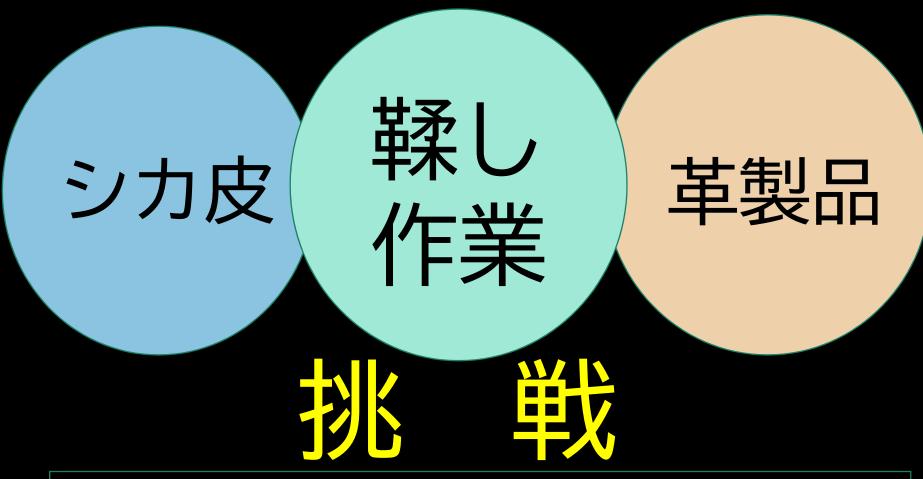


『猟友会に依頼して 駆除してもらえば』



私たちの目標は 森の生き物との共存 害獣駆除され解体された シカの皮は、 産業廃棄物として処理される。





廃棄処分されるシカの皮を 自分たちで鞣すことで 革製品として有効活用できないか?

10月8日

「ちづDeer's」の赤堀広之様に お願いしてシカの皮を譲り受ける。



高校生が手作業で皮鞣しをおこなう。

前例がない! 革製品になるのか?



インターネットで調べて、挑戦! 【脱脂】高圧洗浄機で肉と油をそぎ取る。



【脱脂完了】







【ミョウバン鞣し開始】

4週間浸透



焼ミョウバン:食塩:水

2 2 10

『自分たちで革製品を作りたい!』

赤堀様から 智頭町に移住され、 革細工工房を営まれる 濱口様を 紹介していただく。



lore + needls 」 ロー・アンド・ニードルズ 濱口恵実様

廃棄処分されるシカの皮を 鞣すことで 革製品として有効活用できないか?

私たちの想いを聞き、鞣した革を使った製品作成の指導を快諾してくださる。

10月22日

濱口様より「革」について学ぶ。



「シカの革がいかに有用か」シカ革を前に説明を受ける。









11月19日

ミョウバン液から出して乾燥





11月30日

せん刀(左)に革を押し当てて繊維を切断し、柔らかくする(右)。





サンドペーパーをかけて 鞣し革の完成!





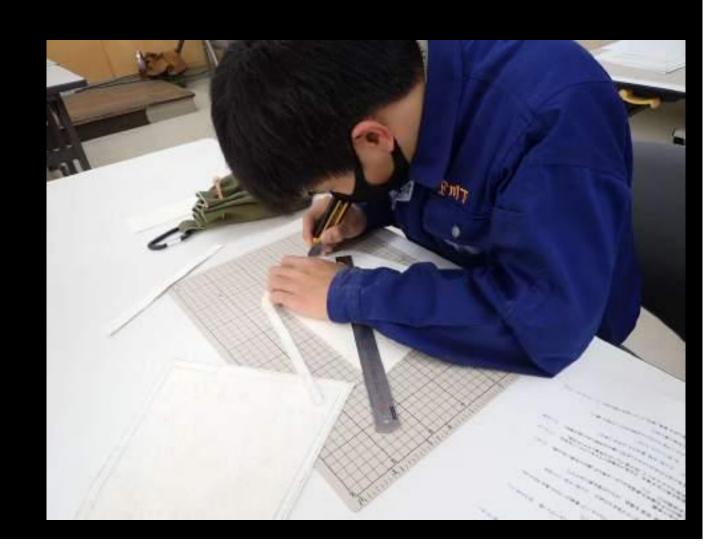
12月10日

濱口様の指導を受けて革製品の作成。

【型取り】



本取り



(穴あけ)





完成)







濱口樣

「森の生き物との共存」という 皆さんの目標が叶うように、 同じ信念を持って生きる アメリカ合衆国の先住民族 (ネイティブ・アメリカン)が愛用する 「medicine bag(薬草袋)」は どうでしょうか?





(生活環境科生徒作品)

本校の生活環境科が行っている 『藍染め』と連携して 藍色のシカ革で小物を作りたい。



